

大阪市なくさんといてよ!

市民ネットがスタート集会

大阪市の廃止し五つの特別区に分割する「大阪都」構想反対の一点で共同する「大阪市なくさんといてよ!

市民ネットワーク」のスタート集会が9日、大阪市内で開かれました。梅田章二弁護士らが準備してきたもの。約100人が参加し、立命館大学の森裕之教授が「徹底バクロ! 『大阪都構想』のウソ」と題して講演しました。

同ネットワークの藤永延代事務局長は「先祖代々、大阪市民です。大阪市をつぶす暴挙は絶対許せない。草の根から反対運動を広げていこう」とあいさつしました。

講演した森教授は、大阪維新の会が「大阪都」構想について「大



阪市は潰(つぶ)しまーじなどで公表しているウソを取り上げ、

「大阪市なくさんといてよ!」のプラカードを掲げてアピールする集会参加者＝9日、大阪市

「不誠実だ。基本的なことでも市民にわからないうように宣伝し、住民投票に入ろうとしている」と訴えました。

「大阪市がなくなるで! えらいこっちゃの会」の辻公雄弁護士、「大阪市分割解体を考える市民の会」世話人の中野雅司氏らがあいさつ。「都」構想反対のデモ行進を計画する若者グループが壇上で訴えました。

集会ではアピールを採択。同ネットワークは今後、ホームページを通じて運動の交流を行い、共同を進めていくことにしています。